

## 令和4年度 高松盆栽産地ブランド確立事業 概要

### 〔事業の趣旨〕

香川県高松市は、松盆栽生産全国一位の産地であり、EU諸国や台湾などへの輸出が注目されているが、国内需要は長期にわたり低迷しており、海外への輸出促進と併せて、国内需要の拡大が急務である。また、産地の維持・活性化を図るために、後継者育成や生産基盤の強化、盆栽文化の普及・定着活動が重要となる。

平成29年度にスタートした地域再生計画に基づく事業が令和3年度をもって終了となるが、令和4年度以降においても「高松盆栽の郷」基本構想の実現を目指して各種施策を展開し、世界に誇れる高松盆栽の産地ブランドの確立を図ることとする。

### 1 高松盆栽の輸出拡大による盆栽産地活性化対策の推進

#### (1) 輸出向け情報発信

盆栽の輸出を推進するための情報発信を行うホームページの多言語化を支援する。

#### (2) 輸出盆栽流通販売体制確立事業

デジタル技術等を活用した輸送技術の向上、効率化を図る取り組みやEU向けクロマツ盆栽の輸出解禁を受け、海外からの問い合わせを販売に繋げるため、現地における盆栽販売拠点となるバイヤー育成等を通じた、輸出販売の強化に支援するとともに、研修生の受け入れに支援する。

### 2 盆栽ツーリズムと盆栽エクスペリエンスによる高松盆栽の郷づくりの推進

#### (1) 「高松盆栽学校」及び「高松盆栽の郷フェスタ」開催支援

国内需要の拡大を目的として開催する「高松盆栽学校」の運営を支援するとともに、高松盆栽の郷の魅力を国内外に発信するため、「高松盆栽の郷フェスタ」開催に対する支援等を実施する。

⇒令和4年度については、「高松盆栽学校」の初級・中級コースを前期（4～9月）・後期（10～3月）の2期実施し、令和4年10月22～23日には、「高松盆栽の郷フェスタ2022」を拠点施設「高松盆栽の郷」において初めて現地開催した。

#### (2) 盆栽サブスクリプション（盆栽新需要開発）

貸盆栽の取組を盆栽サブスクリプションとして事業化するなど、新たな需要を開拓し、盆栽を楽しめる機会を増加させる取組に対する支援を行う。

⇒JA香川県高松盆栽の郷と連携し、令和5年1月から本格運用を開始、高松商工会議所の会員や宿泊業、学校等に当事業利用の働きかけを行っている。

現在は、栗林公園（讃岐民芸館の新民芸館）における盆栽展示として当事業を活用しているところである。（令和5年1月28日から2月23日まで）

### (3) 盆栽ツーリズムの促進

「高松盆栽の郷」を中心としたモデルコースの創出やモニターツアーの実施等を支援することにより、交流人口の増加を図る。

⇒ J A香川県高松盆栽の郷と連携し、第一弾として、具体的な各種プランの設定やパンフレットを作成し、モデルコースの創出を行った。

また、第二弾として、創出したモデルコースを活用して、旅行業などの業者向けに、モニターツアーを実施（令和5年2月）し、高松盆栽の郷や産地の盆栽園を含む観光コースにおける商品化のPRに取り組んだ。

# 令和5年度 高松盆栽産地ブランド確立事業 概要

## 〔事業の趣旨〕

香川県高松市は、松盆栽生産全国一位の産地であり、EU諸国や台湾などへの輸出が注目されているが、国内需要は長期にわたり低迷しており、海外への輸出促進と併せて、国内需要の拡大が急務である。また、産地の維持・活性化を図るために、後継者育成や生産基盤の強化、盆栽文化の普及・定着活動が重要となる。

令和5年度についても、「高松盆栽の郷」基本構想の実現を目指して各種施策を展開し、世界に誇れる高松盆栽の産地ブランドの確立を図ることとする。

## 1 高松盆栽の輸出拡大による盆栽産地活性化対策の推進

香川県や高松盆栽輸出振興会と連携し、デジタル技術等を活用した輸送技術の向上、効率化を図る取組、EU向けクロマツ盆栽の輸出解禁による海外需要を販売に繋げるため、現地における盆栽販売拠点となるバイヤー育成等を行い、輸出販売の強化を支援する。

## 2 高松盆栽の郷づくりの推進及び後継者育成の取組

### (1) 「高松盆栽の郷フェスタ」等の開催支援

国内需要の拡大、高松盆栽の郷の魅力を国内外に発信するための取組として、「高松盆栽の郷フェスタ」の開催やその他PR活動に対する支援等を実施する。

### (2) 高松盆栽ギフト新商品開発事業

多様なアイテムを通して高松盆栽の認知度を向上することを目的に、高松盆栽に関するお土産品ラインアップの充実を図るための新商品開発に係る企画や開発経費の支援を行う。

### (3) 高松盆栽アートコンテスト事業（補正予定）

「高松盆栽の郷」の展示盆栽を含む盆栽及び市内盆栽園等の盆栽を作品対象とした写真や絵画の作品コンテストの実施及びそのための資材等の作成の支援を行う。

### (4) 高松盆栽次世代人材育成事業

盆栽産地における喫緊の課題である後継者不足に対応するため、次世代を担う盆栽生産者等になることを志向し、盆栽を経営品目とする認定農業者等の下において師弟研修を受ける者等に対して、支援を行う。